



BABA RIE

馬場 理恵

(ばば りえ)

式典アナウンサー(活水高校 3 年)

ふるさと佐世保を離れての寮生活。泣いたこともつらかったこともすべて良い思い出。若さあふれる、活気のある長崎県になってほしい。



将来は、長崎県で学んだことを子どもたちに伝えることができるアナウンサーになりたい。

も行きたい。そんな博物館にしたい、いろいろな工夫をしています。博物館で歴史にふれ、そして街を散策してゆかりの場所を訪れてもらいたいですね。

井手永ノそこを中心に、街全体が博物館みたいな感じになって面白そう。それにしても長崎の歴史ってすごいと思います。いつも日本の歴史をつくってきたみたいなのが。中嶋ノそんなことをもつとアピールしていききたいです。修学旅行生に、地元の高校生が街を案内したりとか…。馬場ノそうすれば若い人たちが、また戻ってきたいな、何度も行きたいなと思える街になると思います。

知事ノみんなの話を聞いて、若い人たちが長崎県のどこが好きで、どんなところを伸ばしてほしいか、よくわかりました。ありがとうございます。

若い力が生き生きと輝ける長崎県、皆さんの夢を応援できる長崎県をつくっていききたい。



KANEKO GENJIRO

金子 原二郎

長崎県知事

岩永ノゆめ総体の成功は、全国の選手たちから長崎に来てよかったなと思ってもらえることです。ですが、実行委員長としては、県内の高校生が、一人一役に参加してよかったな思っています。たら大成功だと思っています。知事ノみんなのそういう気持ち、選手が十分に力を発揮できる雰囲気をつくっていく。長崎県の高校生スポーツは、全国ですごく活躍しているので、ゆめ総体でも大いに期待しています。が、みんなの、一人一役は、本県の選手にはとても大きな応援ですよ。心に残るすばらしいインターハイになりそうですね。

「長崎ゆめ総体」にける、夢」

知事ノ今、長崎ゆめ総体」に向けて、一生懸命準備に取り組んでいるのでしょうか？ どんな大会にしたいですか。

馬場ノ総合開会式では、龍踊」や「ツッコデショ」、諫早の「まつりのん」のこを高校生たちが披露します。長崎県のお祭りは明るくて賑やかで、街の雰囲気そのものだから、そういうものを全国の人に知ってもらいたいんです。

「応援したい、みんなの、夢」

知事ノところで、みんな自身身の夢も持っているでしょう？ 中嶋ノ僕は板前さんになりたい。できれば、この長崎で店を持ちたいとも思っています。

知事ノ長崎は魚も野菜も素材が良いから、ぜひ実現してほしいな。開店したら一番に食べに行きますよ。岩永ノ私は野球が大好きで、将来はプロ野球に携わる仕事に就きたいんです。知事ノどこの球団が好きなんですか。岩永ノみんな好きです(笑)。ただ長崎には球団がないから離れることになるのは少し寂しい。でも、やっぱりいつかはふるさとに戻って、海に近いところに住みたいですね。

井手永ノ僕は音楽の先生になって、長崎県の吹奏楽のレベルを上げたいです。でも父から、自分の趣味を仕事にするのは厳しく、難しく、つらいこともあるから、



中嶋ノ僕は龍のしっぽを持ちます。一番後ろだけど、みんなの力で振り回されて気がぬけません。知事ノ龍踊は玉とか頭とかが目立つけど、みんなの息が合つてこそ、あの勇壮で豪快な動きが出てくるんだ。ゆめ総体を、選手だけじゃなく、みんなのようなたくさんの生徒たちが、いろんな役割で支えているのと同じことです。

吹奏楽隊は五百人もいて、音が出だしを合わせるのがとても難しいんですが、気持ちを一つにして、五百人だからこそできる心に響く演奏をしたいです。入場行進曲は長崎の曲ばかりなんです。知事ノほう、それはよその県ではちょっと真似ができないね。岩永ノ手作りの記念品も作っています。風や傘鉾、佐世保こまなどの長崎らしいものをモチーフに、県内全部の高校で作っています。ほかに、エリアマップ、歓迎案内所、花いっぱい運動など、たくさんの方が頑張っています。



IDENAGA KOHSUKE

井手永 孝介

(いでなが こうすけ)

式典音楽 吹奏楽担当(長崎東高校 3 年)

吹奏楽部でコントラバスを担当。部活動に熱中しています。将来は音楽教師になって、長崎県の吹奏楽をレベルアップさせたい。



ゆめ総体では、みんなに頑張るぞって思ってもらえるような、勢いがあつて心に響く演奏をしたい。

よほどの覚悟がいるぞ」と言われました。

知事ノお父さんは、職業の厳しさを君に伝えたいのだと思う。私も長崎県をよくしたい、長崎県のために頑張りたいと思って、知事として一生懸命やっている

けど、うまくいくことばかりじゃない。でも、長崎県が好きだから、厳しいことがあっても仕事が楽しいと思うことができる。ぜひ夢をかなえてください。馬場ノ私は今、子どもたちに本の読み聞かせをしているんですが、将来はアナウンサーになって、戦争の現実を自分の目で確かめて、子どもたちに平和の大切さを伝えていきたいです。

知事ノみんなしっかりとした目標をもっていますね。頼もしいなあ。実はみんなと話をするまで、高校生の年ごろでどこまで長崎県のことを考えてくれていたのかなあ、と思っていました。



岩永ノゆめ総体のおかげです。インターハイが長崎県で開催され、それに参加できるという50年に一度の巡りあわせ。私たちはほんとついに幸せな高校生です。そして、一人一役で頑張るうちに、自然と長崎県の魅力にも興味が出てきました。知事ノふるさとをあらためて考える。ゆめ総体はそういう機会にもなっているんですね。今日は嬉しい話をたくさん聞かせてくれて、ほんとついにありがとうございます。私も、若い人が来てみたい、住んでみたいと思うような長崎県づくりを一生懸命やります。みんなも、ゆめ総体の成功と自分自身の夢の実現のために頑張ってください。応援しています。